

第14回下関市景観賞概要

1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民の皆さんの景観まちづくりに対する関心の醸成や活動者、所有者、設計者等のさらなる景観意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集内容

- (1) 景観フォトコンテスト部門
下関市内の「私が好きな下関の景観」をテーマとした写真が対象。
- (2) 景観デザイン部門
下関市内にある、良好な景観を形成している建築物・工作物等が対象。
- (3) 景観まちづくり活動部門
下関市内で行われている、良好な景観の形成に寄与する活動が対象。

3 募集方法、応募件数

- (1) 募集期間 令和5年(2023年)5月1日(月)～7月3日(月)(64日間)
- (2) 募集広報 市長定例記者会見、報道発表、市ホームページ、市報5月号、フェイスブック、インスタグラム等
- (3) 応募件数 179件

4 選考

- (1) 選考者 下関市景観審議会デザイン委員会委員6人(…以下「選定委員」)
- (2) 選考対象 118件(応募件数のうち、応募要件に適合しない61件を除外)
※応募要件不適合の主な理由：応募要件「1人3点まで」(景観フォトコンテスト部門)を満たさなかったため。
- (3) 選考方法
 - ①書面審査(7月13日(木)～7月27日(木))
選考対象について選定委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったものを最終審査対象として選定。
※最終審査対象：景観フォトコンテスト部門15件、景観デザイン部門2件、景観まちづくり活動部門3件
 - ②現地審査等(8月28日(月)10:15～14:05)
 - ア 参加委員 選定委員6人中5人
 - イ 景観デザイン部門 選定委員による現地審査
 - ウ 景観まちづくり活動部門 活動団体による活動説明、選定委員による質疑
 - エ 景観フォトコンテスト部門 選定委員による写真審査
 - ③最終審査(8月28日(月)14:20～15:30)
 - ア 参加委員 選定委員6人中5人
 - イ 現地審査、質疑内容、資料等を踏まえ、選定委員により、表彰案件を選定。

5 表彰案件

【景観フォトコンテスト部門】

- 景観賞「黎明の茜空(れいめいのあかねぞら)」
(撮影スポット：長府港町)(受賞者：山川 孝一)
- 優秀賞2件
 - ・「角島に掛かる星」
(撮影スポット：角島大浜海水浴場)(受賞者：白石 健太)
 - ・「御田植祭」
(撮影スポット：住吉神社)(受賞者：石川 カ)
- 入選5件
 - ・「にほんのゆめ」
(撮影スポット：海峽ゆめ広場)(受賞者：重松 将史)
 - ・「川の音と源氏の光」
(撮影スポット：豊田町 ホタル舟乗り場)(受賞者：村上 歩夢)
 - ・「Good Job 下関」
(撮影スポット：豊北町滝部の地域交流施設 遇斯光庵(ぐしこうあん)前の農地)
(受賞者：horohoro0222) ※インスタ応募
 - ・「自然が描くアート」
(撮影スポット：角島展望台)(受賞者：横尾 広貴)
 - ・「下関の彩り」
(撮影スポット：海響館 海側)(受賞者：重松 将史)

【景観デザイン部門】

- 景観賞「T-styleの杜(ティースタイルのもり)」
(所在地：稗田西町9番21号)
(受賞者：有限会社玉井工務店、株式会社TAD一級建築士事務所)
- 景観賞「長府毛利邸」
(所在地：長府惣社町4番10号)
(受賞者：下関市観光施設課、下関市公営施設管理公社)

【景観まちづくり活動部門】

- 景観賞「関門海峡キャンドルナイト」
活動場所：
唐戸エリア(下関市役所前・市民広場、旧下関英国領事館、龜山八幡宮等)
下関駅前エリア(エキマチ広場、しものせき市民活動センター)
(受賞者：関門海峡キャンドルナイト下関実行委員会)

審査委員特別賞(全部門対象)

- 「うつついブルワリー」
(所在地：大字内日下1076番地)
(受賞者：社会福祉法人内日福祉会、鈴木浩介建築設計事務所、金剛住機株式会社)

6 表彰式

- (1) 日時 令和5年11月23日(木・勤労感謝の日)13:30～
※下関市景観シンポジウム2023で表彰
- (2) 場所 下関市民会館 中ホール
- (3) 出席者 受賞者6人、下関市景観審議会デザイン委員会会長、前田市長、景観賞事務局(都市整備部都市計画課)

※受賞者・・・景観賞・審査委員特別賞の受賞者。施設管理者、設計者を含む。

景観フォトコンテスト部門

【景観賞】

「黎明の茜空（れいめいのあかねぞら）」

撮影スポット：長府港町
受賞者：山川 孝一

【応募者コメント】

朝焼けの空が、入り江の干潟と、工場の窓ガラスに映りこむ景観はなんとも美しく、ドラマチックで、感動すらおぼえます。

【講評】

朝焼けの空が工場の窓と海面に映りこみ、クレーンや船や鉄塔のシルエットとともに、劇的な日を暗示する美しい景観になっています。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】

「角島に掛かる星」

撮影スポット：角島大浜海水浴場
受賞者：白石 健太

【応募者コメント】

映画の撮影に使われたことで有名な建物ですが、星空との共演が見事でした。

【講評】

映画のロケで造られた建物と星空や大地との共演による夜の風景は、どこか異次元の雰囲気を感じさせています。



「御田植祭」

撮影スポット：住吉神社
受賞者：石川 力

【応募者コメント】

御田植祭の全景、水面への映り込み

【講評】

田植え前の水面に、鯉のぼりと早乙女が映っている伝統行事の風景は、豊作と繁栄への願いが伝わるものとなっています。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「にほんのゆめ」

撮影スポット：海峡ゆめ広場
受賞者：重松 将史

【応募者コメント】

下関のシンボルである海峡ゆめタワーを窓ガラスに反射させました。

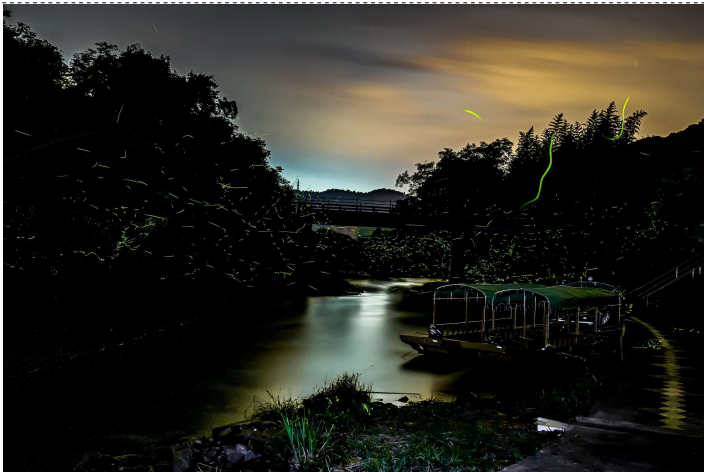


「川の音と源氏の光」

撮影スポット：豊田町 ホテル舟乗り場(豊田町大字榎原)
受賞者：村上 歩夢

【応募者コメント】

川のせせらぎを聴きながらのホテル観賞は格別でした。この日はホテル舟運航の初日。たくさんの人に感動を運んでくれた舟もいいアクセントになってくれました。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「Good Job 下関」

撮影スポット：豊北町滝部の地域交流施設 遇斯光庵^{ぐしこうあん}前の農地
受賞者：horohoro0222 ※インスタ応募

【応募者コメント】

下関市豊北町滝部の地域交流施設 遇斯光庵^{ぐしこうあん}前の農地で、約 2,500 株の彩りとりどりの里山花しょうぶが今頃になってます。普段の花しょうぶ園の池や湿地とは違って畑になっていて、花菖蒲が間近で鑑賞出来て目の前で撮れます。花菖蒲の種類の名前をネットで調べたら半端ない数でした。花言葉は、『うれしい知らせ』。

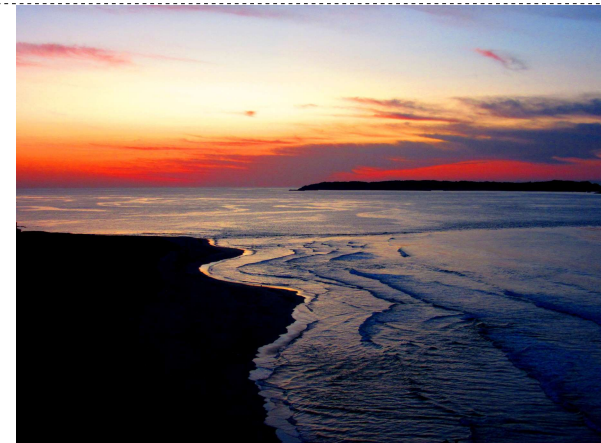


「自然が描くアート」

撮影スポット：角島展望台
受賞者：横尾 広貴

【応募者コメント】

この場所の夕暮れの景色は、太陽の光のあたり方と影で波が描く模様が、くっきり見えます。真っ赤な空と紺色の海のコントラストも好きです。絵画のような風景をみて、波の音をきいて、想像力が膨らみます。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「下関の彩り」

撮影スポット：海響館 海側
受賞者：重松 将史

【応募者コメント】

花火とその背景に火の山、関門橋、唐戸市場と下関の観光名所を詰め込みました。海響館のガラスで鏡の様に撮影しています。



景観デザイン部門

【景観賞】

「T-style の杜 (ティスタイルのもり)」

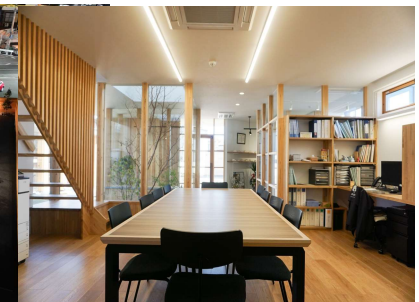
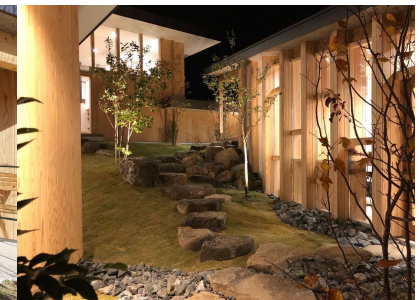
所在地：稗田西町 9 番 21 号

受賞者：有限会社玉井工務店（所有者・施工者）
株式会社 TAD 一級建築士事務所（設計者）

【講評】

令和 4 年 1 1 月に建築された、社屋棟（工務店・設計事務所）とカフェ棟からなる施設です。カフェ棟は、一般開放されています。近隣住宅街の閑静な環境を乱さないよう配慮するとともに、中庭、坪庭、屋内緑化など、木と緑をふんだんに取り入れています。

建築物に対する様々な工夫に加えて、周辺との調和に配慮しつつ、新しい景観を創ろうとしている点が評価されました。



景観デザイン部門

【景観賞】

「長府毛利邸」

所在地：長府惣社町 4 番 1 0 号
受賞者：下関市観光施設課（所有者）
下関市公営施設管理公社（施設管理者）

【講評】

明治36年、長府毛利家第14代当主・毛利元敏により完成された邸宅で、城下町長府を構成する施設の1つです。現在は、一般開放されています。武家屋敷造りの重厚な母屋と白壁に囲まれた日本庭園からなります。庭園内では、季節の花々が色を添えます。

施設管理者や造園専門家などが協力し、昔からの建築物・庭園という景観を守り育てようとしている点が評価されました。



景観まちづくり活動部門

【景観賞】

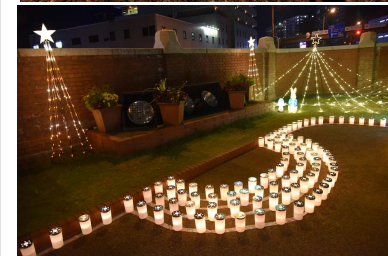
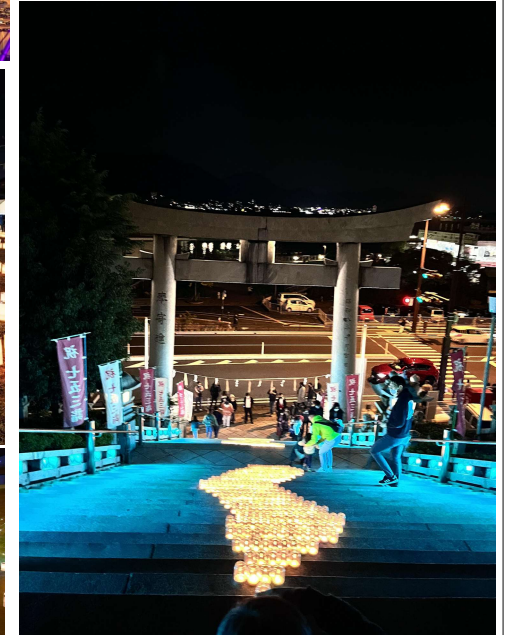
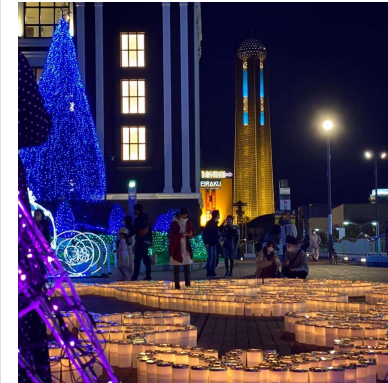
「関門海峡キャンドルナイト」

活動場所：唐戸エリア(下関市役所前・市民広場、
旧下関英国領事館、亀山八幡宮等)
下関駅前エリア(エキマチ広場、
しものせき市民活動センター)
受賞者：関門海峡キャンドルナイト下関実行委員会

【講評】

平成29年11月から開催されている、下関市、北九州市の2都市合わせて、約3万個のキャンドルを点灯するイベントで、カバーエリア、開催規模としては、日本最大級のキャンドルイベントです。毎年11月中旬の土・日曜日、2日間で開催され、令和5年度は、11月18日・19日に開催されました。

地域住民と連携し、夜間景観を通してにぎわい創出を図ろうとしている点が評価されました。



【審査委員特別賞】（全部門対象）

「うついブルワリー」

活動場所：大字内日下 1076 番地
受賞者：社会福祉法人内日福祉会（所有者）
鈴木浩介建築設計事務所（設計者）
金剛住機株式会社（施工者）

【講評】

令和5年3月に建築された福祉作業所で、かつ、クラフトビール醸造所です。ビール瓶の茶色をモチーフとした外観は、竹林などの豊かな自然景観に映えるデザインで、田園地帯のランドマーク的な役割を目指す建築物です。原料のホップ栽培、醸造、販売までを一貫して行っています。

建築物と自然景観とのバランスがとれている点が評価されました。

